

ボトルカー解体マニュアル



自動車リサイクル法が2005年1月1日に施行され、乗用車、商用車（キャブ付きシャシ）と一部の架装物がリサイクル法の対象となります。弊社が製造販売するバン型架装物（ドライバン、保冷・冷凍バン、接着バン、ボトルカー）はリサイクル法の対象外となっておりますが、このほど架装物を解体する際の『解体マニュアル』を作成致しましたので、解体時の参考にして頂ければ幸いです。

ご注意

ここに掲載する『解体マニュアル』は一般的な解体手順を示しているもので、仕様によってはマニュアル通りに解体出来ない事が発生する場合がありますのでご留意下さい。また解体に際しての安全対策は、関連する法律を遵守して行って下さい。

本解体マニュアルの記載内容は、予告なく改訂することがありますので予めご了承下さい。

解体マニュアルに関してのお問い合わせは

(株)北村製作所 設計一課

Tel : 025-280-7119

Fax : 025-280-7142



株式会社

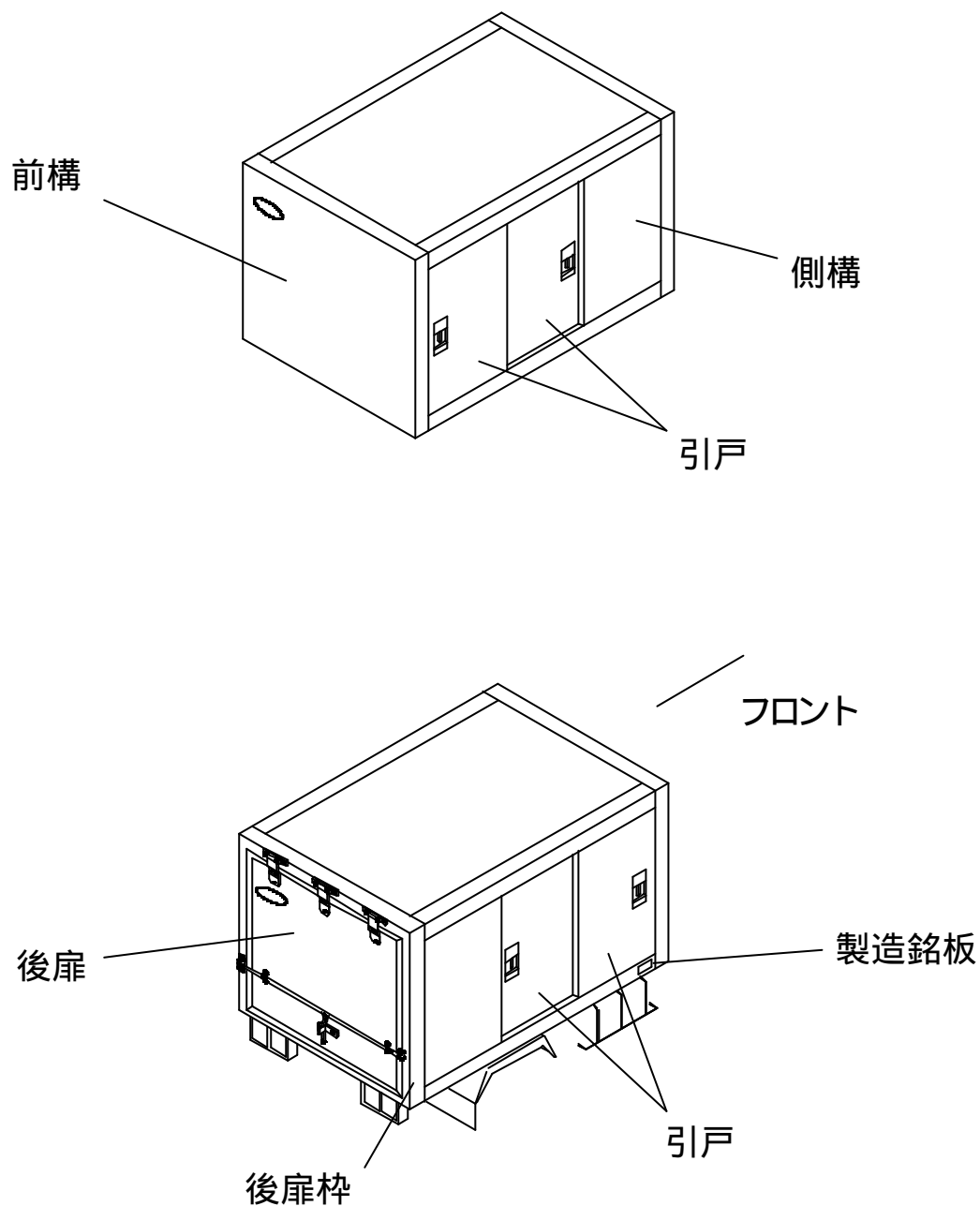
北村製作所

目次

1. ボトルカーの各装置について
2. 解体前の作業について
3. 解体方法について
4. 各材料への分別

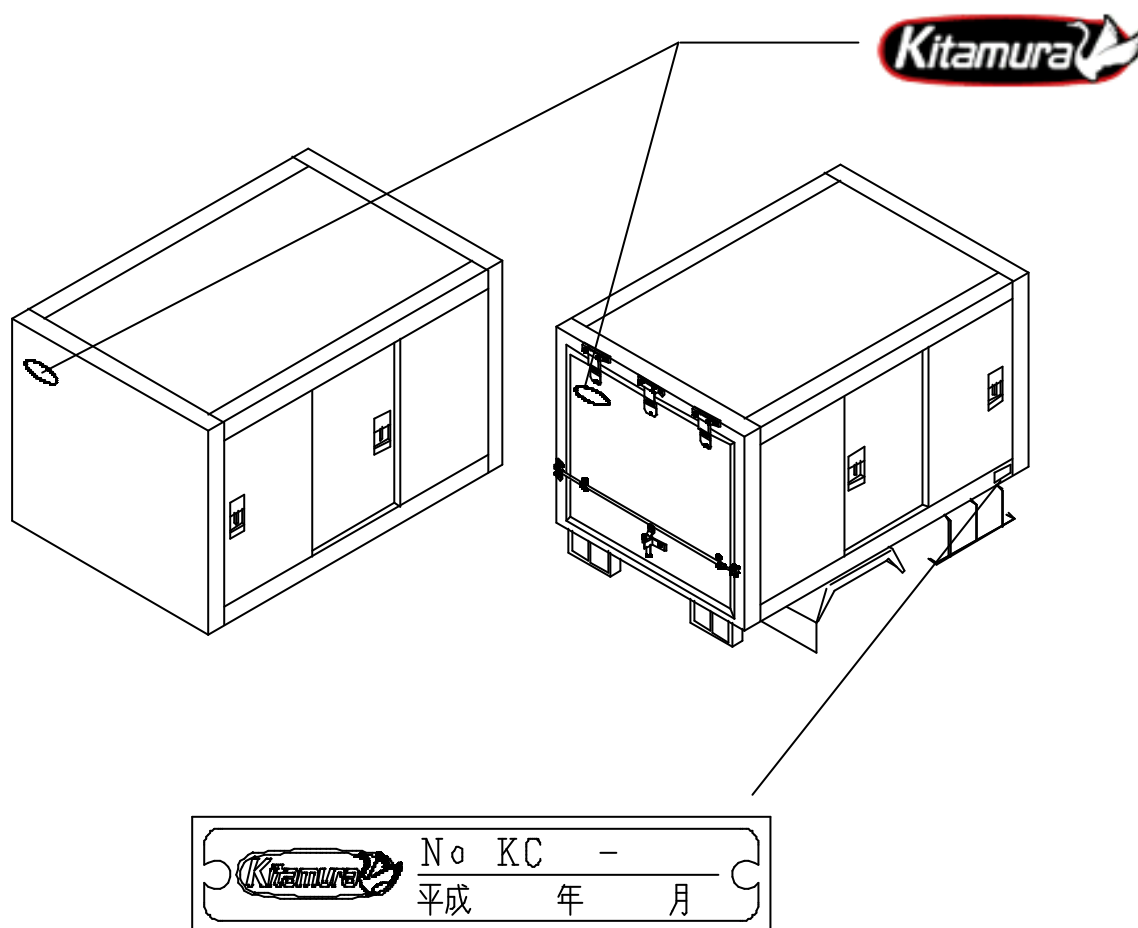
1. ボトルカーの各装置について

1-1 ボディーの外観及び名称

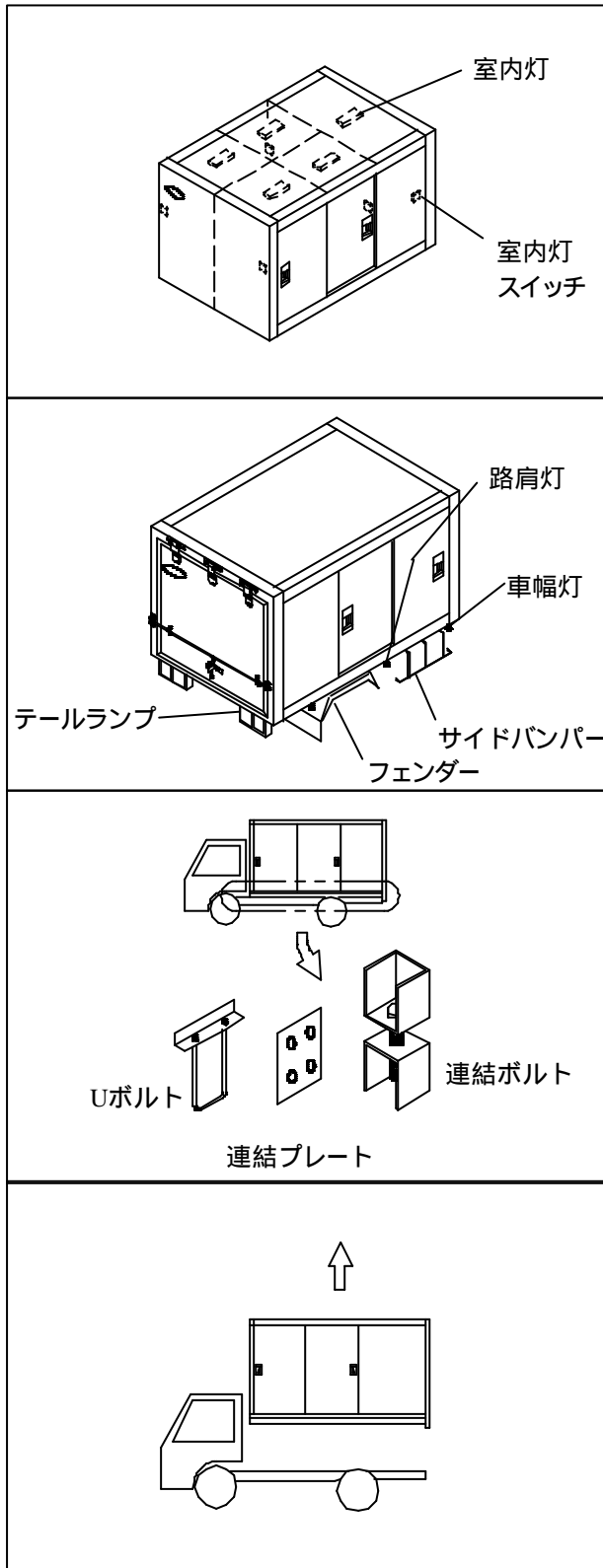


1. ボトルカーの各装置について

弊社製ボトルカーには下記のようなステッカー、製造銘板が貼付けてありますので確認してください。



2.解体前の作業について



2-1

艸装品、電装品等を外します。

2-2

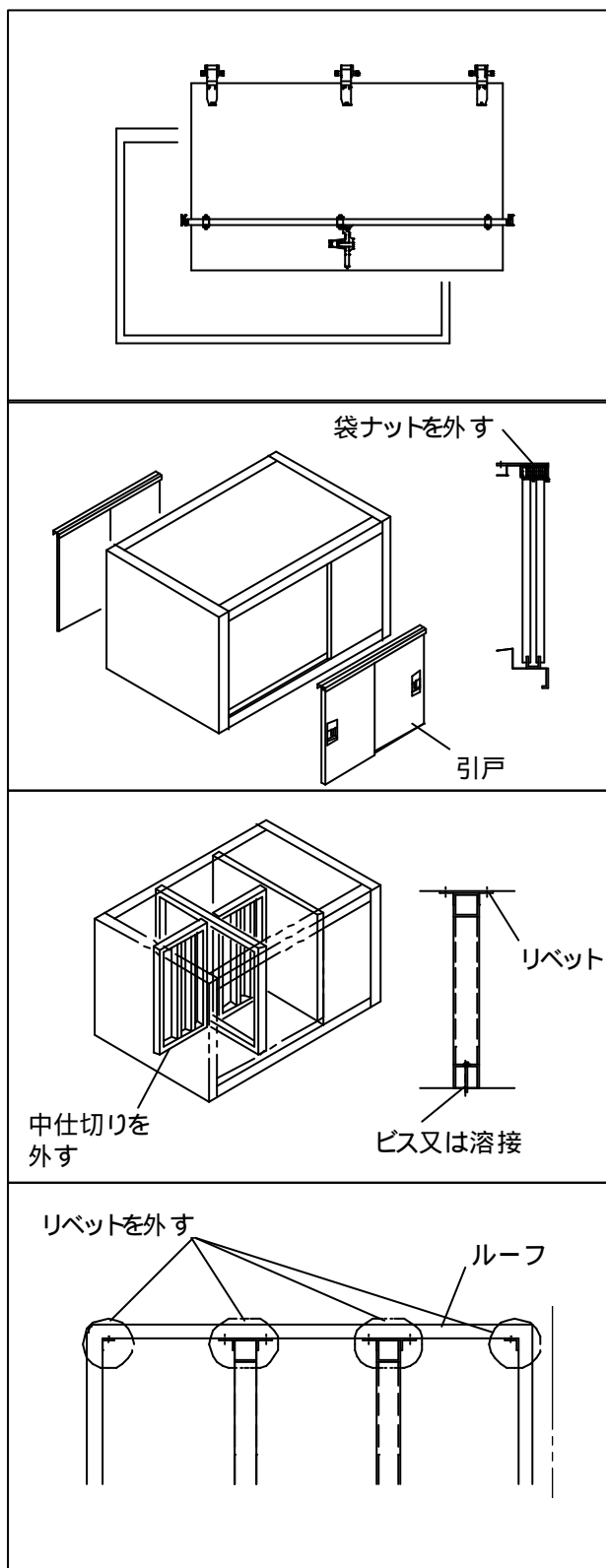
連結金具類を外します。

2-3

シャシーからボデーを分離します。

クレーン等を使ってボデーを吊上げて下さい。

3.解体方法について



3-1

扉を外します。

3-2

引戸を取り外します。
下レールを外します。
袋ナットを外して上レールごと扉を外します。

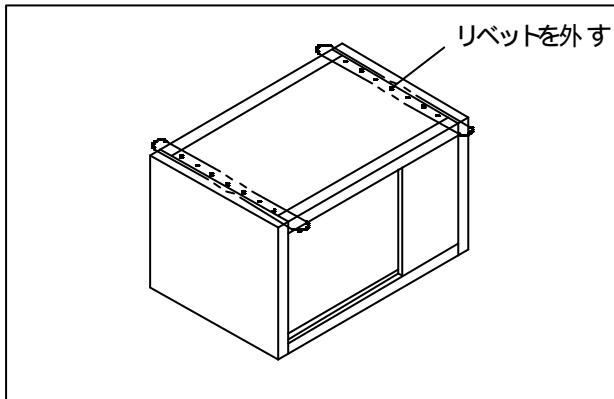
3-3

中仕切りを外します。

3-4

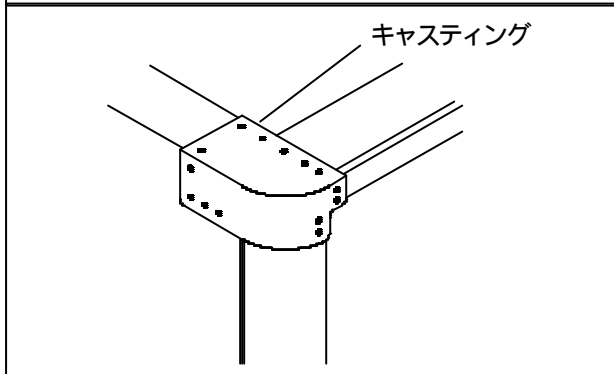
ルーフから各柱を固定している
リベットを外します。

3.解体方法について



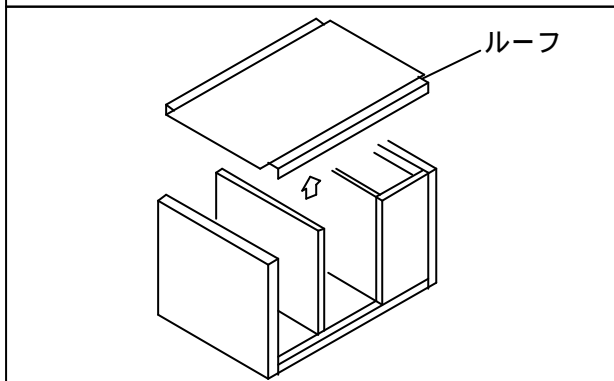
3-5

前構とルーフ、後扉枠とルーフを結合しているリベットを外します。
(各柱にルーフより止めているリベットも外します)



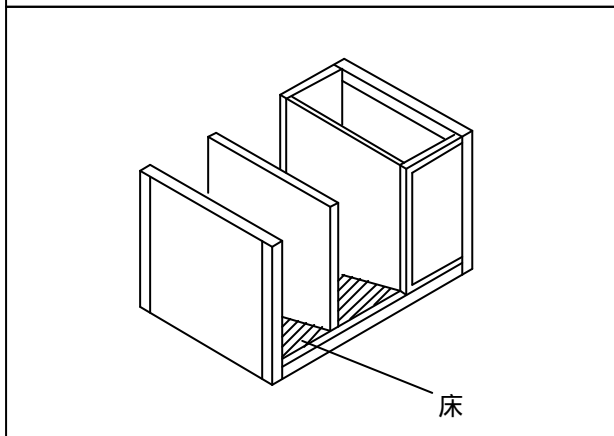
3-6

キャストイングを外します。
リベット及び溶接部をこじって外します。



3-7

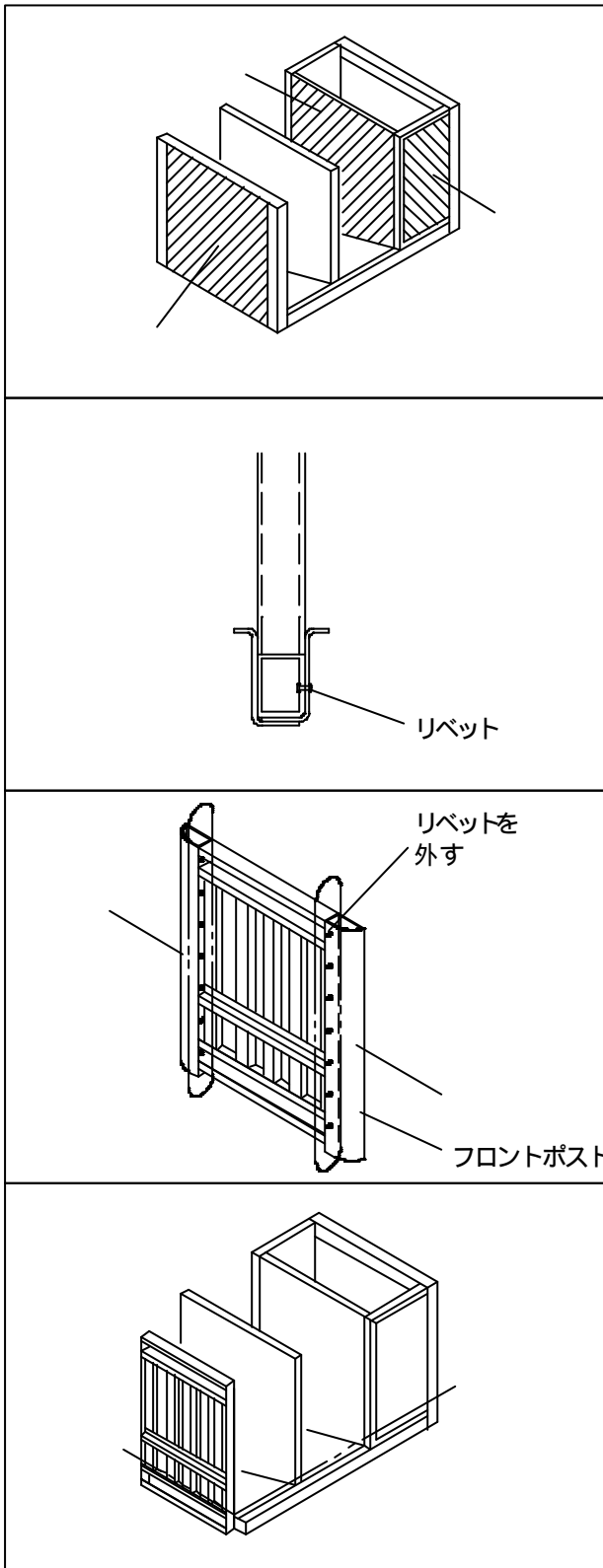
ルーフを外します。



3-8

床を外します。
・ALビードの場合は、リベットを外して
 ボール等でこじる。
 (シーリング材等ついている為)
・SUS床板の場合は、立上りのリベットを
 外してボールでこじって外します。

3.解体方法について



3-9

内外板を外します。
リベットを外してドライバー等でこじって外します。
(両面テープが付いています。)

3-10

柱を外します。
AL型材の柱の場合、メンバー部でリベット止めされている為リベットを外します。

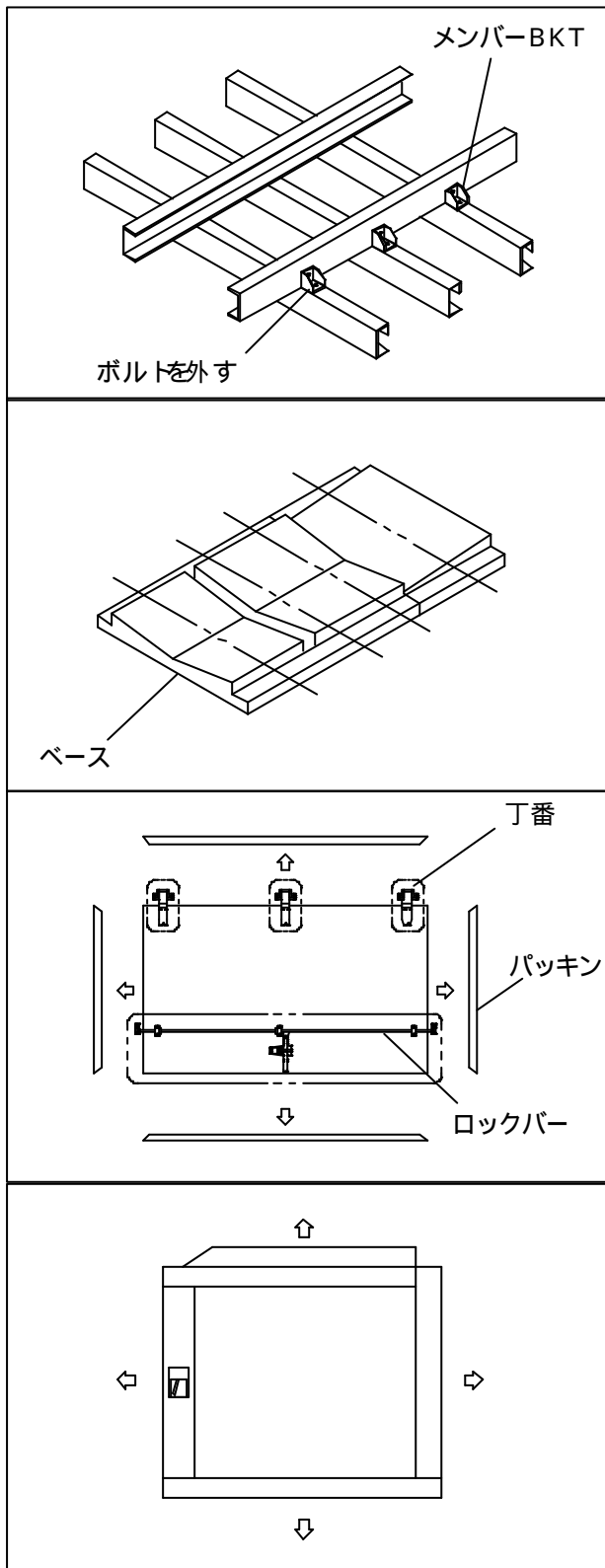
3-11

フロントポストを外します。
柱の内側より止めてあるリベットを外します。

3-12

各柱を分離します。
各柱及び後扉枠は、ベースと溶接されている為根元より切断します。

3.解体方法について



3- 13

ベースを裏返してメンバー-BKTを外します。

3- 14

ベースを任意の大きさに分解する。

3- 15

後扉を分解します。丁番、ロックバー、パッキンを外します。

3- 16

引戸を解体します。
型材を固定しているリベットを外して解体します。

4.各材料への分別

取り外した部品、切断した部品は出来る限り分別して適正な処理をお願いします。

ボトルカー で使用している材質の一例

| | |
|--------|-------|
| 金 属 | アルミ |
| | 鉄 |
| | ステンレス |
| | 銅 |

| | |
|--------|------------|
| 樹 脂 | ポリスチレンフォーム |
| | 硬質ウレタンフォーム |
| | FRP |
| | 塩化ビニル |
| | ポリエチレン |
| | ゴム類 |
| | 廃プラ |

| | |
|-------------|-------|
| 木 材 | ラワン合板 |
| | アピトン |
| そ の 他 | ハーネス |
| | ガラス |
| | 蛍光灯 |